

7/14

# 小松島港まつり開幕を前に たぬき広場の野外ステージを改修工事

以前より、小松島ステーションパークのたぬき広場内にある野外ステージの床板が老朽化しており、昨年の市政モニター員全体会議や稲田市長のふれあい行政出前講座などでも市民の方々から安全面についてのご心配をいただいておりますが、小松島港まつり開幕を間近に控えた7月14日、床板を張り替える改修工事が終了し、安全に港まつりを開催することができました。解体工事を含めた改修工事に要した費用は約600万円。

根太・大引（床を支える梁部材）には、東南アジア産セラランガンバツ材（約530m、太さ65mm×90mm）、床材にはセラランより堅木である南米産イペ材（約180㎡、



床材が張り替えられた野外ステージ



金長たぬき像の由来がしるされた掲示板

厚み30㎜）を使用しました。この床材は、徳島市の新町川ボードウォークと同材のもので、耐用年数は20年以上とされています。また、昨年11月末には、金長たぬき像の由来をしるした掲示板も建てられており、小松島のシンボル、世界最大（高さ5m）のためき像の周辺整備が進んでいます。

## 善意の寄付

◆6月26日

昨年秋の叙勲で瑞宝双光章を受賞された幸野章子さん（坂野町）が6月26日、市役所を訪れ、叙勲受賞記念として坂野小学校に寄贈される舞台幕一式の目録が稲田市長に手渡されました。

寄贈されたのは、左右へ電動で開閉できるどん帳やステージ用カーテンなど一式。また、幸野さんは7月17日に坂野小学校で催された記念式典に出席され、受賞された賞状を披露しながら書かれている内容や、同小で行われた今年の卒業式に参加し、どん帳が古くなっていることを知り寄贈を思いついたことなどを丁寧に話されていました。



受賞された賞状を子どもたちに披露しながら笑顔で話をする幸野さん



坂野小学校に寄贈された舞台幕一式

◆7月15日

住友林業クレスト株式会社小松島事業所（横須町）から、ステーションパークのためき広場にベンチが寄贈されました。これは、今年度同事業所へ赴任された精松所長さんが広場をウォーキング中にベンチが老朽化しているのを知り、自社製品を使用して製作できないかを思案。仕上げ・構造などについて市と協議し、製作には従業員の方々が就業後の時間を充てるなどのご協力をいただき、防虫・防蟻・防腐の処理がされた木材を使用して製作された5脚が、港まつりを間近に控えた7月15日、先行して設置されました。今後、秋頃までに残り9脚と灰皿が設置される予定です。



設置されたベンチに座って稲田市長と記念撮影をする住友林業クレストの従業員の方々



寄贈されたベンチ